平成 29 年度第 7 回理事会 議事録

平成 29 年 11 月 18 日　19:00 より 20:15
まで
浜寺昭和校区地域会館 1 号会議室にて開催

出席理事　　平山芳弘　田中正史　足田八洲雄　中川髙秀　奥野喬子
　　飯田月子　鷺ノ森和子　濱野清士　米川潤　西澤慎二
出席監事　　石橋忠義　四方和彦

理事の総数 14 名に対して出席した理事の数は 10 名であった。

定款の規定により平山理事長が議長となり、開会を宣言した。

1 号議案 その後の広報のあらまし(報告) 資料 No. 1 参照

① 浜寺公園駅舎曳家記念行事(11 月 19 日に実施)の広報
　広報さかいの 11 月号全市頁に曳家の実施と記念のセレモニーのお知らせが掲載された。また、NATTS の 11 月号に information として曳家記念行事実施についての広報が掲載された。

② 今後の広報の予定としては、浜寺昭和校区自治連合会の「松風」の 1 月号、堺市老人クラブ連合会の「ほがらか堺」1 月号などへの掲載も予定する。さらに、広報さかいや NATTS などの 1 月号への掲載を考える。

2 号議案 駅舎活用の手引き（案）

第 6 回の理事会にて駅舎活用の手引き書の理事長案が提示されている。
これについて、事務局で資料 No.2 の開業案内と施設利用のしおりを作成して三者会議に提出した。この手引きを草案として本理事会に提出する。理事長から、中央通路に名称については、ギャラリーやカフェに合わせて横文字名に統一してはどうかという意向がでた。これを含めて、この内容についての様々な意見があると思われるので、それを提案して貰い、それらをまとめて手引き書の形を整えたい。

3 号議案　下期購入予定備品　（今回は報告がなかった）

4 号議案　駅舎「試験活用」までのスケジュールについて

足田

資料 3 により「試験活用」開業までのスケジュールが確認された。
7 月 21 日の工程表では開業が 3 月末になっているが、現状では公式の開業は 4 月中旬にな

ると予想されている。

10月の3者会議では、堺市の工事完了は予定通り3月15日で、その後NPO側の設備の搬入と整備が行われて、4月1日には利用が可能になるという日程が示されている。これに対して、公式の開業式典を開催することについて、堺市や南海電鉄などでは人事異動の時期であり、平成30年度の期初に式典を開催することには難があるということで、その時期を少しずらそうということになっている。

したがって、式典の開催日は、現在のところ、4月14日とか15日という見通しになっている。次回の三者会議でさらに工程が確認される。

工事説明会は11月11日に実施された。

曳家記念行事は11月19日の開催が予定されて、広報されている。

曳家の実施時期は11月28日、12月2日、および12月18日に実施されることで決定し、既に公告されている。

ライブラリーの案内とボランティア募集は会員と、自治会の回覧版で校区に回っている。

12 月には駅舎利用のマニュアルを完成したい。1 月には管理担当者の名前を決めるなどが予定されている。

5号議案　オープニングセレモニー

オープニングセレモニーについては、堺市とも相談しないといけないが、来賓を呼んできてなにかするとか、ショー、コンサートなどをしてお祝いをするのもいいが、出来たら、紅白饅頭かタオル程度を NPO の会員と来られた方に配ることを考えてはどうかという理事長提案があった。

6号議案 入会者一覧と入会申込書 資料No. 4参照

入会案内と会員登録の書式(修正済み)が改めて提示された。

また、平成29年10月末現在の会員名簿がしめされて、会員数は、個人会員81名、団体会員6名、合計会員数87名と報告された。なお、11月に1名の入会が決まっている。

7号議案 日程について

12月は、16日に理事会と忘年会を開催する。

参加者の便に配慮して、場所は地域会館とし 16::00 から理事会を開催し、引き続いて17:30から忘年会を開催するという線で時間を調整する。

その他の議案(1)　図書コーナーの運営に付いて-

① 書架について

書架を5台、予算金額11万円で購入する手配をした。購入先はケア工房J2。

ケア工房 J2 では、工房が狭いので、製作が完了したものは一台づつすぐに納入したいという希望が出ている。また、事前に納入場所の状況を見て、デザインを決めたいという意向である。

受入可能な時期と、駅舎内検分可能時期について、三者会議を通じて堺市と相談した上、J2 と調整する必要がある。

② 山埼豊子文庫

山埼豊子文庫の設置に付いて、山埼豊子文化財団に照会したところ、文庫本 30 冊を出版社から寄贈していただけることになった。寄贈本についてはその出版社からの寄贈ということを掲示する必要がある。

③ ボランティアの募集について

既に数人の参加希望が来ている。3 月中に応募者を集めて打合せをする予定である。

④ 公立図書館から図書を借り入れるという点では、アドバイザーを介してネットワークを構築する。

⑤ 書架の高さについて、建屋の壁の寸法により高さを調整する必要もあるので、事務局から建屋側面図を米川理事に届ける。

その他の議案(2) 駅舎カフェ話し合いの結果について（資料参照）

カフェグループは 11 月までに 4 回の打合せをしている。その中で、設備配置、食器類、メニュー、配員、制服などについての意見が出ている。

配付資料では、カフェの開業までに必要な検討事項を網羅してあり、その中にカフェグループの検討結果を記載している。

① 設備配置では

キッチンの配置図で、シンクと手洗いが描かれているが、これらはカフェの営業許可の条件に合ったものが堺市から納入される。NPO 側では調理台、IH ヒーター、冷蔵庫、カウンター収納台、製氷機を調達する。

キッチン前のテーブルと椅子については 2 案を例示している。この場所は東西の幅が狭く、通常のテーブルと椅子を配置すると、サービスをする通路が確保できない。図に示している一案は無印良品の製品で、簡単なスツールに座るようなデザインになっている。これについては背もたれのない椅子という事で疑念がでているが、座りやすい椅子で、場所を取らないのでお勧めしたい。これに対して、鷺ノ森理事から、イケヤの展示場で適当なものを見つけたという報告があった。

また、第二案はカウンターテーブルと椅子の組み合わせで、これなら面積的には余裕がある配置に出来る。カウンター席はサービス員とお客さまの間の対話をうながす効果がある。大型のテーブルはお客さま同士の対話を促す形になる。机の配置にはこのような雰囲気への配慮が必要になる。カフェグループでは、カウンターは目の前にお客さま

が座られると、仕事がしにくいという意向のようである。

② 調理道具や食器などの検討はこれからで、食器は白色に統一するという意見があるが、ウエッジウッドのような柄物のデザインもいいという話もある
什器や備品の購入は年内に手配すべきものと 3 月でも遅くないものに分けて、時機を失しないように手配する必要がある。

③ 服装について、焦げ茶のエプロンと T シャツという案が出ている。

④ その他の備品として、キャッシュレジスターやコートハンガーなども必要。

⑤ サービス員について、ボランティアと学生アルバイトなども考える。

⑥ 営業時間について、館内の開館時間は 10:00 から 17:00 になるが、カフェのサービスは 10:00 から 16:00 という希望がでている。この点については調整が必要である。

⑦ メニューについては、コーヒーとクッキーのセット 350 円、ケーキセットなどを検討している。サンドイッチも検討項目になっている。

⑧ これらを合わせて、収支計算をしなければならない。

⑨ 営業許可と設備認可、調理資格なども必要で、年内には保健所などと打ち合わせる必要がある。その際は堺市にも同席願う。

⑩ キッチン設備は、箇々のユニットを購入して並べるだけと考えて居るが、あとで棚を吊ったりという作業も必要になる。もし、便利大工さんの様な人をご存じなら教えて欲しい。

その他の議案(3) 駅舎活用の手引き

駅舎活用の手引きについては 2 号議案で紹介されている。この内容は現時点で決められている条件を折り込んだもので、今後細目を決めて、それを折り込んだ手引きにすることになる。また、一般訪問客に対して配布する案内書は、これとは別に作成する必要がある。例えば、利晶の杜では、来訪客用のしおりが常備されているが、施設利用に対する案内は、印刷物がなく、ネットで公表されている。問い合わせがあればホームページのコピーを渡すようにしているということであった。
現在の手引きは 3 月末までの開業案内であり、それ以降は、対象となる相手に合わせたパンフレットが必要となる。

その他の議案(4) 通信施設について

通信施設としては、電話とファックス、インターネット回線を一括で契約することになる。このような施設の提供元はケーブル回線の JCOM と光回線の NTT フレッツ光、eo ひかりの三社であるが、JCOM は公共施設には提供しないということで辞退している。

11 月 16 日に NTT に問い合わせて、添付の見積もりを受け取っている。今後、現地調査などをへて、最終の施設利用の条件がきる。

なお、同じ交渉を eo ひかりとも実施して、年内に条件を比較して業者を決定し、来年早々の開線引き込みを実施する。

また、連立工事では、付近の電柱から館内への地下ケーブル導入管を敷設することになったので、その計画図を資料として添付している。

その他の議案(5)　NPO 法人のための個別サポート

前回の理事会で報告した個別サポートについて、現状に照らし合わせると、カフェグループの開業準備で援助を受けるのが良いように思えるので、その線で進めてみたい。

補足事項：－

事務局としては、今回、予算と費用の状況について報告したかったが、準備が出来なかったので、12 月の理事会で報告できるようにする。

以上で議事は終了して閉会した。

上記議事の要領及び議決の結果を明確にするために議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

平成 29 年 11 月 20 日

特定非営利活動法人 浜寺公園駅舎保存活用の会
平成 29 年度 第 7 回理事会

議長　　平山 芳弘

議事録署名人　　田中 正史

議事録署名人　　足田 八洲雄